



3日の授業参観には、平日にもかかわらず、たくさんのご参観をいただき、ありがとうございました。

臨時PTA総会でお話したように、本山小学校134年の歴史を1日に例えると、今は23時55分頃になります。昔から大切にしてきたことと、今の時代に応じたこと。どちらも大切にしながら、いい締め括りをしたい。そして新小学校につないでいきたい。そんな贅沢な理想を掲げながら残りの「5分間」を進んでいきたいと考えています。

古きも新しきも、自分の糧に

＜昔から大切にしてきたこと～3年の授業から～＞

「こんなにわずかな違いが分かる。こんなに明らかな違いが分からない。遊びながら、思う。人間の感覚とは、何と不思議に満ちていることか。」

(2025.10.4(土)朝日新聞「天声人語」より)



先日の朝日新聞に、このような言葉が載っていました。職人は、モノのわずかな違いを、目で、手触りで感じるそうです。自動車のボディのわずかな歪みやへこみを最終的にチェックするのは、機械ではなく人間の手だと聞いたこともあります。

3年生は、はかりを使って「重さ」の学習をしました。身の回りの物の重さを予想した後、計測して確かめました。自分の感覚と実際とのずれは、こういった活動を通して修正されていくのでしょう。

人がしなくても機械が代わりになる時代。それでも人が本来持っている感覚を磨くことで、多感で彩りある毎日への扉が開くように思います。

＜時代に応じたこと～6年の授業から～＞

ICTとは“Information and Communication Technology”的略で、「コミュニケーション」が真ん中に据わっています。

6年生は、タブレットPCを使ってSDGs(持続可能な開発目標)について調べ、それを友達と見せ合いながらさらに学習を深めていました。タブレットに使われることなく、タブレットを使いこなす。頼りがいのある未来人に育ちそうです。



いくつになっても学びは新しい



授業参観に続いて、学校保健委員会を行いました。今年は「ウン知育教室」で、ヤクルトから講師をお招きし、健康のバロメーターである「ウンチ」についてのお話をうかがいました。

私も、バナナ状で黄色っぽい茶色のウンチがいいウンチであることは子どもの頃から知っていましたが、この日、「水に浮くウンチがいいウンチ」ということも知りました。今まで、沈むウンチを見て「中身が詰まっていいウンチ」と思っていたのですが、それは水分が足りない証拠で、あまりよくないのだそうです。不惑も超え、知命も超えて、また新たなことを知りました。